

04 ベンチマークする競合

小荷物宅配の市場は、ヤマト運輸の個人事業主等のパートナーの契約終了に伴い、市場再編のチャンス

ヤマト運輸「ネコポス」

ヤマト運輸では、「クロネコDM便」を1月末に終了し、約3万人のクロネコメイトの業務委託契約を解除。メール便組織の解体を招きました。また、「ネコポス」も10月に終了予定としていましたが、宅配個数の激減に伴い、再開を決定しています。すでに廃止したエリアも8月をめどに復活させる予定ですが、顧客が戻らず苦戦中です。

日本郵便「ゆうパケット」

日本郵便では「ゆうパケット」のみの販売はせず、ヤマト運輸の撤退発表により市場に溢れた小荷物を「ゆうパック」とのセット売りで案内。新規荷主を増やす動きを試行しています。